

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育 I Baby Child Care I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程・教職課程（幼稚園教諭二種）必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格・幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格・幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館 2 階	火・水・木・金曜日の 9 ～17 時		授業中に指示します
授業の概要				
3 歳未満児の心身と言葉の発達を理解し、保育園だけではなく乳児院における保育の実際と望ましい保育についての学びを深める。また、家庭や地域の役割や児童虐待や少子化問題なども学ぶ。				
授業の目標				
①乳幼児の心身と言葉の発達について説明できるようにする。 ②乳幼児の保育の現状と望ましい保育について説明できるようにする。 ③乳幼児を取り巻く環境因子について説明できるようにする。				
授業の方法				
さまざまな乳児保育の事例を紹介しながら、授業を進める。毎回授業のまとめを提出する。				
学習の成果（学習成果）				
①乳幼児の発達や行動を理解し、保育することができる。 ②保育園や乳児院における望ましい保育について説明することができる。 ③虐待や少子化の背景を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバス説明、授業の進め方、評価の方法）			
第2回目	「乳児保育」とはなにか			
第3回目	「乳児保育の一日」～2 月の保育実習を振り返って：発表～			
第4回目	「乳児保育の一日」～2 月の保育実習を振り返って：まとめ～			
第5回目	「乳児保育の一日」～乳児院の一日～			
第6回目	運動機能の発達			

第7回目	保育者の援助と生活環境づくり	
第8回目	手の機能の発達と保育者の援助	
第9回目	言語の発達～胎児期～	
第10回目	言語の発達～乳幼児期の言語発達と母親のかかわり～	
第11回目	対人関係の発達（人見知り・三項関係・並行遊び・反抗期）	
第12回目	対人関係の発達子どもの気持ち・保育者の援助	
第13回目	乳児保育の課題	
第14回目	乳児保育の課題～児童虐待～	
第15回目	乳児保育の課題～少子化と地域の変貌～	
事前・事後学習	授業のまとめが返却されたら必ず目を通す。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	66%	授業内容を理解したうえで、自分の考えを展開することが必要です。 6 %× 1 1回＝66%
調査報告書	10%	2月の保育実習を振り返って、自分の発表内容に加え他者の考察も取り入れ、望ましい乳児保育についてまとめる（ワードファイル）。
小テスト	14%	14、15回目の授業では、授業内容の理解を問う穴埋め問題を出す。 7 %× 2 回＝14%
試験		
発表内容（態度含む）	10%	2月の保育実習を振り返り乳児保育の実際と考察を発表する際、聴者を意識しながら、棒読みにならず聞き取りやすい声でゆっくり発表することが大切です。
その他		
教科書と参考図書		
乳児の生活と保育（ななみ書房）		
履修上の留意点・ルール		
授業のまとめでは電子辞書など積極的に使ってください。		